



全日病 S-QUE 看護師特定行為研修

医療安全学／特定行為実践

共通科目

225-226

演習

2.⑤チーム医療の実習と演習

チーム医療の演習（実習の振り返り）

奈良県立医科大学 集中治療部病院教授

井上 聡己 氏

奈良県立医科大学附属病院リソースナースセンター特定看護師統括マネージャー

辻本 雄大 氏

チーム医療の実習と演習 ～チーム医療の演習（実習の振り返り）～

奈良県立医科大学附属病院
集中治療部 病院教授
井上聡己

リソースナースセンター
急性・重症患者看護専門看護師・特定看護師統括マネジャー
辻本雄大

学習目標

- ・ 特定行為やチーム医療を行う上で、他の医療スタッフの役割を理解し、円滑にコミュニケーションがとれる
- ・ 自施設における日常のチーム医療から、自己を振り返り、課題を見出し、具体的な改善策を考えることができる

実習内容

パターン①：指導者同席のもとで実際の多職種カンファレンスに参加できる場合

パターン②：多職種カンファレンスに参加できない場合
・ 研修生によるチーム医療の経験の振り返り

パターン①：指導者同席のもとで実際の多職種カンファレンスに参加できる場合

➤ 経験の内省：リフレクションシートの記入

- ① 参加したカンファレンスでの発言や態度等に関して、リフレクションシート（別紙）に記載を行う
- ② （同じカンファレンスに複数の研修生で参加した場合）フィードバックシートに自己評価を行い、他研修生からの評価およびフィードバック・コメントをもらう
- ③ 多職種協働における特定行為研修を修了した看護師の役割について考え、共有する
- ④ 同席した指導者のフィードバックを受け、今後の課題と対策を検討する

リフレクションシート記入と相互フィードバック

研修生の評価基準を確認した上で、各項目を記述してください。
例を記載したのか、及び、その経験の中で、最初に考えたことやその時の感情、抱った行動は？

うまくいったこと、うまくいかなかったことのそれぞれの要因の分析

どうしたらよかったと思うこと、何を私は学んだのか？

この学びはこれから実践にどのように活用できる？学びを活用できる？

※可能であれば、この項目に、シラバスの講義番号「218」のMRMを参考にして下さい。

研修生の評価基準を確認し、評価をしてください。

自己評価

評価	自己評価からの評価
	フィードバックコメント

指導者同席評価、指導者からの評価

評価	指導者からの評価
	フィードバックコメント

リフレクション≒内省とは

□ 自己の思考・感情、判断、行為について **自覚的** になり、
熟考し、**次からどうしていきべきか**を見出していくこと

□ 熟達した専門家の思考様式



パターン①：指導者同席のもとで実際の多職種カンファレンスに参加できる場合

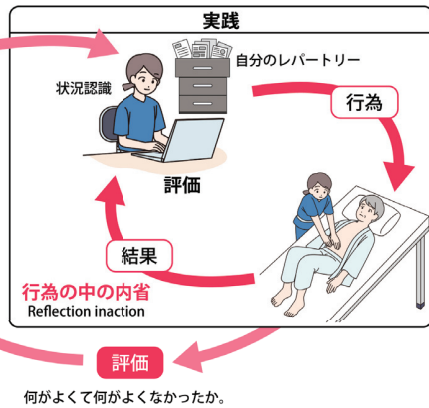
リフレクションの構造

行為に向けた内省
Reflection on action

教訓
このような場面では
どうすべきであったか。
何を学んだか。

分析

よかった、よくなかった
原因は何か。
どうすべきだったのか。



何がよくて何がよくなかったか。

パターン①：指導者同席のもとで実際の多職種カンファレンスに参加できる場合

評価：ループリックスの活用

- 学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したもの
- 主にパフォーマンス課題を評価するために使われる
- 評価するもの、使用するもの双方に効果がある

評価項目	優秀	良	再学習
気づき	自分がどのように出来事に影響を与えたのか、状況がどのように自分に影響したのかを踏まえ、経験した事象での行為・思考・感情について記述されている (20点)	経験した事象の中で行為・思考・感情について記述されている (10点)	起こった事象のみ記述されている。 (0点)
批判的分析	経験した事象/ワークショップの中で、チームパフォーマンスを構成する要素を精査した上で、これまでに得た知識を再認識し、思い込みを疑い、自己の行為・思考・感情に対する評価および分析ができている (20点)	チーム全体のパフォーマンスを踏まえ、自己の行為・思考・感情に対する評価および分析ができている (10点)	自己の行為・思考・感情に対する評価のみである (0点)
学び	経験した事象を基に、これまでのチーム医療に対する知識・スキル・態度・信念への影響も学びとして具体的に記述することができる (30点)	経験した事象/ワークショップを基に、チーム医療に対する学びを具体的に記述することができる (20点)	学びを記述できているが、具体性に欠ける (10点)
学びの応用	所属施設の状況を踏まえ、学んだことを活かす場面、事例を複数挙げて、具体的に記述できている。または、自施設の状況を踏まえ、どう改善していくのかを具体的に記述できている (30点)	所属施設の状況を踏まえ、学んだことを活かす場面、事例を複数挙げて、記述できている。または、自施設の状況を踏まえ、どう改善していくのかを記述できている (20点)	所属施設の状況を踏まえ、学んだことを活かす場面、事例は記述されているが具体性に欠ける。または、自施設の状況を記述できているが、何を改善していくのか不明瞭である。 (10点)

医療安全学 2020

パターン②：多職種カンファレンスに参加できない場合 ・研修生によるチーム医療の経験の振り返り

➢ リフレクションシートの発表： 自施設の課題と具体的な改善策の検討

- ①グループ毎にリフレクションシートの内容を発表する
発表内容：チーム医療における学びと課題、改善策
・質疑応答により、内容を深める
- ③多職種協働における特定行為研修を修了した看護師の役割について考え、共有する
- ③指導者のフィードバックを受け、今後の課題と対策を検討する

パターン②：多職種カンファレンスに参加できない場合

【ファシリテーションスキル虎の巻：辻本版】

- 1) 問題を突き詰めるための3つの質問：
 - ①それはなぜですか？
 - ②具体的に言うと？
 - ③まとめると？
- 2) 言いにくいことをいう方法：
「あなたのためを思ってあえて言わせてもらおうと」を文頭につける
- 3) 話を本筋にもどす方法：
話の途中で、～について話を戻しましょう
いい意見なので、少し脇においておきましょう



パターン①・② 共通

学び続けるために大切なこと

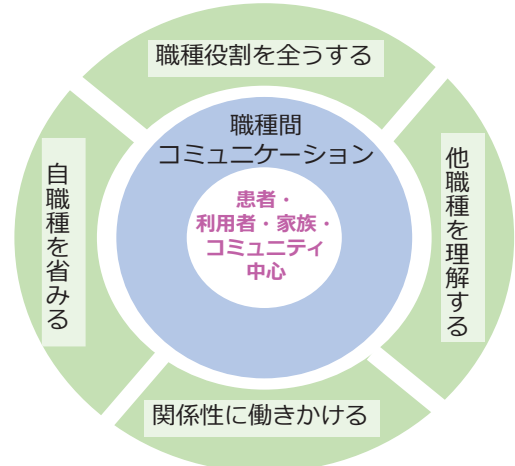
抽象と具体の行き来

理論やエビデンスと経験のリフレクション

①記述②説明③予測④規定

多職種連携コンピテンシーモデル

パターン①・② 共通



医療福祉分野の多職種連携コンピテンシー (2016)

パターン①・② 共通

チーム医療のキーパーソンってどんな人？？

信頼 = **能力** × **人格**

・専門的能力

・誠実さ
・一貫している
行動や思考
・他者への思いやり
・他者への受容性

+リフレクション

パターン①・② 共通

まとめ

- ・チーム医療は医療を最大限のベクトルで円滑に進めるものである
- ・チームとは互いに連携し、互いの役割を理解しつつ存在するものである
- ・特定行為研修を修了した看護師はチームの医療の連携を支える重要な役割を果たす
- ・コミュニケーションスキルが重要で、また常に内省（リフレクション）をもって成長に役立てることが大切である ←根底に能力×人格が重要
- ・経験を増やすために研修生同士で経験を共有することが有効である